



小学校への出前授業 ～昔の暮らし～

河東地区歴史研究会では、1月14日(火)と15日(水)に河東小と河東西小の3年生の出前授業を行いました。

古い道具をコミセン倉庫から運び出し、小学校のホールに並べることからスタート。教科書にも出ていない古道具がずらーり。子ども達はもちろん、先生方の驚いている様子を見て、時代の流れを感じたことでした。

たくさんの質問にも答えました。足踏脱穀機、唐箕(とうみ)、糸ぐるまを体験して、何度もやりたがる子ども達。本やテレビでは体験できない見て聞いて触っての授業です。今は古くても当時は新しいものであったことでしょう。

今年も子ども達から元気と楽しさをもらえたひとときでした。

(河東歴史研究会 I. K)



小中一貫CSフォーラム

1月25日(土)、小中一貫コミュニティスクール(CS)フォーラムが宗像ユリックスで開催されました。教育活動や地域学校協働活動を通して、地域課題の解決、活性化、持続可能な地域の創造手の共有など講演が行われました。

会場では、宗像市の7つの学園(かとう学園、中央学園、日の里学園、学びの丘学園、城山学園、大島学園、玄海学園)の活動状況を紹介するパネル展示が行われ、宗像市での生活を笑顔にしていこうとする姿がありました。

かとう学園のコーナーでは、農園で子ども達が収穫したさつまいもの販売が行われ、“うわさの商品”に列が出来、完売となりました。

手伝いに来てくれた生徒さん、先生ありがとうございました。
(青少年育成部会)



第11回 かとコミ文化祭

2月1日(土)・2日(日)の2日間、かとコミ文化祭を開催しました。1日は終日雨、2日は曇り空でしたが、2日間で約530人が来場されました。

環境イベントとして、市脱炭素社会推進課による“脱炭素に関するビンゴゲーム”が4回実施され毎回30～40人の参加があり、盛り上がりしました。日常のちょっとした工夫でCO2を削減できることなど、楽しく学びました。

河東小・河東西小の絵画・版画、河東中の

美術作品の展示と家庭科部の小物販売。また、センター利用の方々や地域の団体・個人の方々にも素晴らしい作品を出展していただき、芸術・文化への関心を高めるだけでなく、地域の皆様のふれあいの場として賑わいました。

開催に際しまして来場者の方々、出展者の方々、準備から撤収までご協力いただいた関係者の皆さんに感謝です。

ありがとうございました。

(かとコミ文化祭実行委員長 佐々木まり子)

サロン・ピクチャーレールの様子 小物販売・小中学生の作品



多目的ホールの様子



環境講座 (脱炭素に必要な行動について)

